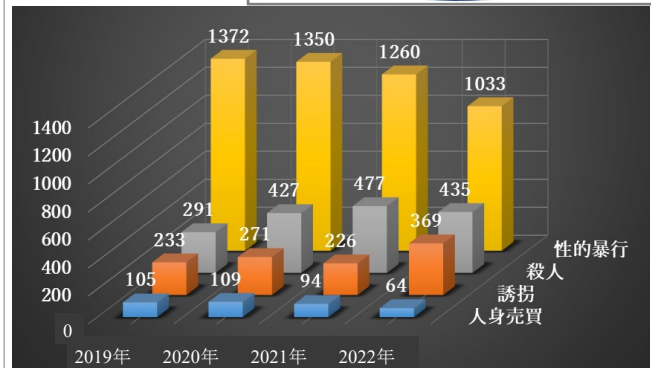
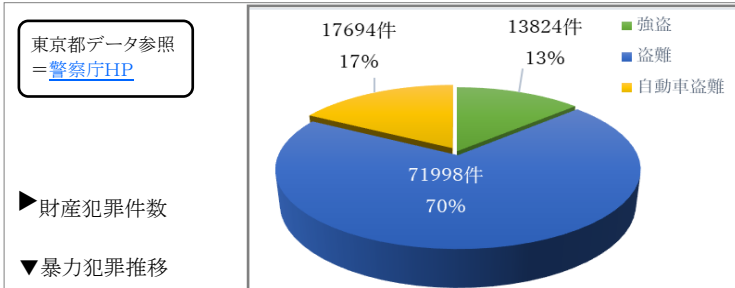


ヒューストンの治安について

在ヒューストン日本国総領事館からのご案内

1. ヒューストンの最近の治安状況

ヒューストンの暴力犯罪認知件数は全体的に見れば減少傾向にあります。しかし、安全と言えるレベルではなく、例えば2022年度の東京都全体の殺人認知件数は91件、人口と殺人件数を結びつけると殺人被害に遭う確率は東京都は153,406分の1なのに対して、**ヒューストン市の場合、5287分の1となります。**



逆に認知件数が増加したのが**誘拐**と財産犯罪に該当する**盗難被害**です。誘拐認知件数増加の背景には、ウィズコロナで生活スタイルが一変しアフターコロナへと歩みを進めていく中、その急激な変化に伴うストレスから、夫婦トラブルの急増、そして別居家庭が増加し最終的に親権問題へ発展、その結果、夫婦間での親権トラブルが生じ誘拐事件へ発展する流れが急増したためです。また、それとは別に金銭目的の誘拐事件も増加していることから、夜間の単独での外出を控えることや、日中であってもお子様が同伴している場合は必ずお子様から目を離さないよう、平時からの心掛けと工夫が肝要となります。そして、前年比11%の増加率(17,694件)となった車両に関する盗難被害の急増した背景には、**触媒コンバーター**と車両内部に保管してある**銃**の盗取被害の急増が原因にあげられております。どちらにも言えることですが、アクセスの良い路上駐車やゲートやフェンスのない駐車場の利用は極力避け、安全対策がきちんと講じてある(可動式ゲート、24時間録画モーションカメラ、常駐警備員の配置)駐車場を選定するよう心掛けてください。また、車内の見えるところに鞆や貴重品などを置かないことはもちろんですが、電波や無線信号を発する電子機器などは、外部より容易に信号を受信することが可能なため、見えない位置に保管していても車内に保管されているのが分かるので、絶対に保管しないようにしてください。万一、強盗被害に直面した場合は、抵抗せず金品をすぐに渡し、人命最優先で行動・判断することを平時より意識しておきましょう。

2. ヒューストン日本語補習校近隣で発生した事件と周辺地域の評価

ヒューストン警察 (HPD) が発表している2022年犯罪認知件数のデータから読み取れるのは、ヒューストン日本語補習校周辺は比較的 안전한エリアであるということです。しかし、2月14日午前08時30分頃に「高齢者を射殺し車両を盗難する。」という悲惨な事件が発生。やはり、比較的 안전한エリアと言っても図1を見ても分かるように、周辺では車両盗難や暴行事件などが数多く発生しています。保護者の皆様におかれましては、決して「補習校周辺はヒューストンでは安全なエリアである。」や「敷地内に治安当局が配置されているから。」などを理由に慢心することなく、引き続き誘拐や車上荒らしなどには気を付けてください。具体的には、周囲の状況を適宜確認することが肝要です。そして、長時間一定箇所への駐車を避け、車両内部に待機するのであれば施錠を徹底し危険を感じた場合に迅速な避難が可能な態勢や環境を維持することを心掛けてください。また、お子様たちが授業を受けている間に、周辺でのお買い物を楽しむこともあるかと思いますが、強盗や車上荒らしには十分に気を付けていただき、特にBeltway8やI-10では犯罪発生率が高いため、より一層ご注意ください。

犯行を企てる賊の考えとしては、アジア人に対して「裕福」というイメージを強くもっていることが多いと言われています。買物中・車両乗車時・帰路の途中・自宅到着時など尾行されているのに気付かず、車両停車時に被害に遭うケースなどが多く、実際に強盗や車上荒らしの被害相談が総領事館に対して、ここ数年とても多く寄せられております。通過するルートや時刻などに配慮するとともに、車内の施錠の徹底と周囲の状況に注意して追尾車両の有無など、普段あまり意識しない情報にも十分に注意を払ってください。

図2はヒューストン日本語補習校周辺エリアの暴力犯罪と財産犯罪の認知件数となっております。一概に件数の多い少ないなどで一喜一憂するための判断材料とするだけでなく、自分の身は自分で守るという心構えで十分安全に気を付けていただきたいと思います。



Offense Type	2021	2022	Difference	% Difference
Murder	16	26	10	63%
Rape	93	93	0	0%
Robbery	448	361	-87	-19%
Aggravated Assault	1,030	987	-43	-4%
Kidnapping	5	28	23	460%
Human Trafficking	5	4	-1	-20%
Violent Crime	1,597	1,499	-98	-6%

Auto Theft	1,304	1,549	245	19%
Burglary	1,403	1,258	-145	-10%
Theft	7,772	8,302	530	7%
Non-Violent Crime	10,479	11,109	630	6%

Grand Total	12,076	12,608	532	4%
--------------------	---------------	---------------	------------	-----------

Violent Crime is DOWN 6% in 2022

3. 在ヒューストン日本国総領事館からのご案内

(1) パスポートの適切な管理

最近、パスポート(旅券)を紛失する事例が散見されています。パスポートは、日本政府が、海外であなたが日本人であること、あなたの氏名・生年月日などを証明する国際的身分証明書です。また、万一何かが起こったときに渡航先国政府に対してあなたに必要な保護と援助を与えるよう要請する重要な公文書です。「パスポートの入った鞆を車内に放置する」、「パスポートを郵送する」等は控え、パスポートを適切に管理いただくをお願いします。

なお、紛失したパスポートは、闇ルートを通じて国際的な犯罪組織等の手に渡り、偽造され不法な出入国に使われたりするケースもあります。パスポートを紛失した場合には、警察署に届け出た上で、速やかに旅券紛失届を提出していただくをお願いします。パスポートについてのご案内は[こちら](#))

(2) 在留届と「たびレジ」の登録

ア 長期滞在に必要な在留届

在留届を提出することにより、最新の安全情報等を受け取ることができます。また、在留届は、当館が現地に居住する邦人の方の情報を把握し、緊急事態が発生した際に迅速な援護・支援などを行うための不可欠なデータとなります。旅券法(第16条)でも、海外に住所又は居所を定めて3か月以上滞在する邦人の方には在留届の提出が義務付けられていますので、まだ提出されていない方は、この機会に提出をお願いします。

在留届は、「在留届電子届出システム(ORRnet)」を通じて、いつでも届け出が可能です。

イ 3か月未満の渡航者には「たびレジ」

旅行者や出張者など3か月未満の滞在者であれば、「たびレジ」に登録しておくことで、長期滞在者同様に、当地で重大な事件や大規模な事故・災害などが発生した場合、最新情報をタイムリーに受けることが可能になります。

[こちら](#)からいつでも登録可能です。

(在ヒューストン日本国総領事館)